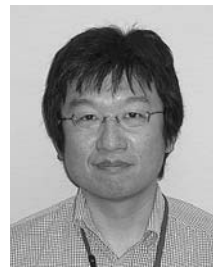


経済・ビジネス

SATの10年間を振り返って

(財) 茨城県科学技術振興財団 つくばサイエンス・アカデミー
事務局長 野上 周



(財) 茨城県科学技術振興財団つくばサイエンス・アカデミー（通称SAT：Science Academy of Tsukuba）は、本年11月16日に設立10周年を迎えます。

そこで、今年は、7月23日（金）に筑波大学長山田信博先生をお招きしてSAT10周年記念SATフォーラム及びSAT10周年記念パーティーを、12月24日（金）～25日（土）にSAT10周年記念TXテクノロジー・ショーケースを、それぞれつくば国際会議場で開催するなど、様々な記念行事を開催します。

10周年を迎えるに当たり、写真を中心としてSAT10年間の歴史を簡単に振り返ってみたいと思います。

1 設立経緯

SAT会長（2009（平成21）年7月24日までは理事長）でもある江崎玲於奈先生を館長にお迎えし、1999（平成11）年6月1日につくば国際会議場が開館しました。その開館記念イベントとして同年11月17日～19日に開催された国際会議「サイ



設立記念講演会



SAT10周年記念SATフォーラム

エンス・フロンティアつくば(SFT)999」の最終日に「つくば宣言」が発表され、SATの設立が採択されました。

その結果、翌2000（平成12）年11月16日に、同年ノーベル化学賞を受賞した白川英樹先生らによる設立記念講演会と設立総会が開催され、異分野の研究者間の交流、科学に興味と楽しさを感じる若者の育成や市民の拡大などを目的としたSATが誕生しました。

2 実施事業

SATでは、つくば国際会議場に会員が自由に交流できる部屋を2室（サロン・レオ）確保し、多くの科学者・技術者の交流を進めてきた他、多様な事業を実施しています。主な事業を紹介します。

① 継続事業

- SATフォーラム（様々な専門分野の研究を促進するため、著名人を招いて実施しているフォーラム。ノーベル賞受賞者の野依良治、小柴昌俊、小林誠各氏等を招いて開



第6回江崎玲於奈賞授賞式



第3回賛助会員交流会



ショーケース2010

催している。)

- テクノロジー・ショーケース（科学・技術の成果を産業に活かし、企業との交流を促進するため開催。ポスター発表とポスター発表者による1分間のインデクシングを中心に行われている。)
- 江崎玲於奈賞授賞式・受賞記念講演会（関彰商事（株）様協賛により、毎年ナノテクノロジー分野で活躍している優秀な研究者を表彰し、記念講演会を行っている。)
- ② 過去に実施していた事業
 - ランチョンセミナー（6年間、昼食時に開催していたセミナー）
 - サイエンスカフェ（学校や公民館などを会場として、2年間実施したセミナー）
- ③ 最近開始した事業
 - SAT「つくばスタイル交流会」（サイエンスとアートを組み合わせた情報発信を行うとともに、科学・技術の普及啓発を図る事

業。2007（平成19）年度から5回開催。)

- 賛助会員交流会（賛助会員間の交流を図るとともに、大学・国立研究所等の研究者等と交流を図る事業。2008（平成20）年度から4回開催。)

3 最近の出来事

SATは、運営基盤の安定化を図るため、2009年度から（財）茨城県科学技術振興財団と統合しました。

そして、2009年度には、海外の優れた研究者等を招いて、外国語による講演を行う第1回国際講演会（講師：ノーベル博物館長 スヴァンテ・リンドクヴィスト氏）を開催したり、自然科学系の部活動を熱心に行っている高校の部活動において、指導者登録済みのSAT会員による特別指導を行う自然科学部員特別指導事業を開始しました。

また、最近では賛助会員企業を中心とした技術者との交流や会員に関する広報の充実に関心をもち、力を入れています。

例えば、前述の賛助会員交流会のほか、会員相互の交流を深めることを目的に、事務局が賛助会員の事業所を訪問し、事業内容や技術開発の内容についてお伺いしたものを、「事務局だより」（メルマガ）、SATホームページ、会報などを通じて紹介していく賛助会員訪問を2008年度から開始し、現在26企業を訪問しています。

さらに、7月1日から、SATホームページに「会員リンク集」を掲載したほか、8月1日からはトップページにおいて会員の最近の動静をお伝え



第5回SATつくばスタイル交流会



賛助会員訪問



第1回国際講演会

する「会員情報コーナー」の掲載を始めました。そして、今年度から、イベント開催時に、賛助会員のちらし、パンフレット、試供品等を参加者にお配りする「賛助会員広報コーナー」の設置を開始したところです。

4 SATの課題と今後

SATは、(財)茨城県科学技術振興財団と統合し、運営基盤は安定してきましたが、会員の高齢化な

どに伴い500名を数えた個人会員は300名を切り、100を超えていた賛助会員数も市町村合併に伴う自治体会員的大幅減少などにより60あまりに減少してきています。

今後経営基盤を安定化させ、事業を円滑に実施するためにも、若手研究者などを発掘して個人会員を増加させることや、民間企業を中心として賛助会員数を増やすことが必要になってきていると思われます。

また、会員の皆様のご意見を取り入れながら、新しい企画にもどんどん取り組んでいく所存です。

5 会員になるには

SATに入会しますと、開催する各種事業へ参加できますし、会報やメルマガを受け取れます。また、つくば国際会議場4階にあるサロン・レオを無料で使用することができます。

ぜひご入会ください。

なお、入会ご希望の方は、入会申込書をお送りしますので、下記事務局にご一報ください。

また、年会費・事務局は、以下のとおりです。

(1) 年会費

- | | |
|--------|-------------|
| ① 一般会員 | 5,000円 |
| ② 学生会員 | 3,000円 |
| ③ 賛助会員 | 50,000円(1口) |

(2) 事務局

(財)茨城県科学技術振興財団

つくばサイエンス・アカデミー 事務局

〒305-0032 つくば市竹園2-20-3

つくば国際会議場内

TEL：029-861-1206

FAX：029-861-1209

E-mail：academy@epochal.or.jp

URL <http://www.science-academy.jp/>

〔野上 周 (のがみ・しゅう)〕

1966年茨城県久慈郡水府村(現常陸太田市)生まれ。茨城県立太田第一高等学校、慶應義塾大学文学部史学科を卒業後、1989年茨城県教育委員会に採用。その後、茨城県教育庁企画広報室(現総務課)、茨城県保健福祉部厚生総務課等を経て2009年より現職。